

雪の渡り鳥

作詞：清水みのる
作曲：陸奥明

□□□

合羽からげて三度笠
どこをねぐらの渡り鳥
愚痴じゃなければどこの俺にや
帰る瀬もない
伊豆の下田の灯が恋し

意地に生きるが 男だと
胸に聞かせて 旅暮らし
三月三年 今もなお
思い切れずに
残る未練が 泣いている

払い除けても降りかかる
何を恨みの 雪しぐれ
俺も 鯉名の銀平さ

抜くか長脇差
ぬけば白刃に 血の吹雪

雪の渡り鳥

作詞：清水みのる
作曲：陸奥明

□□■

1.

合羽からげて

三度笠

どこをねぐらの

渡り鳥

愚痴じゃなけれど

この俺にや

帰る瀬もない

伊豆の下田の

灯が恋し

雪の渡り鳥

作詞：清水みのる
作曲：陸奥明



2.
意地に生きるのが
男だと
胸に聞かせて
旅暮らし
三月三年
今もなお
思い切れずに
残る未練が
泣いている

雪の渡り鳥

作詞：清水みのる
作曲：陸奥明

3.

■ ■ ■ ■
払い除けても

降りかかる

何を恨みの

雪しぐれ

俺も 鯉名の銀平さ

抜くか長脇差

ぬけば白刃に

血の吹雪